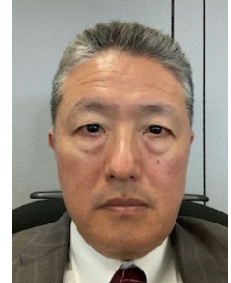


畜産物の需給・流通関係ヒアリング御協力者の概要

廣岡 誠二 （所属） 全国農業協同組合連合会 畜産総合対策部
（役職） 次長



【「全国食肉センター協議会※」の概要】

（※農協系統産地食肉センターや県経済連、全農などを会員とする協議会）

- ・ 設立年 1972 年 3 月
- ・ 食肉処理施設数 34
- ・ 年間取扱頭数 牛 412 千頭 豚 5,976 千頭 （2022 年度）

【組織の概要・特色】

- JAグループでは、本会や農協系統産地食肉センターなどを会員とする「全国食肉センター協議会」を通じ、食肉センター間の連携強化や従業員の技術、品質・衛生管理の向上を図っている。
- また、1973 年に畜産振興事業団（当時）とともに「全国食肉学校」を設立し、食肉業界に携わる人材の育成に取り組んでいる。
- 本会は 2022 年 4 月に専任部署として「食肉事業対策室」を設置し、食肉処理施設を含めた持続可能な畜産事業の方向性の立案にあたっている。



食肉処理施設の現状と課題

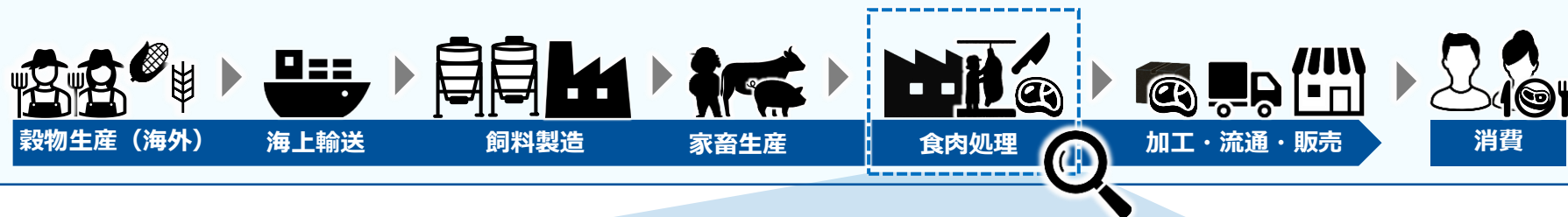
令和6年5月24日（金）

全国農業協同組合連合会

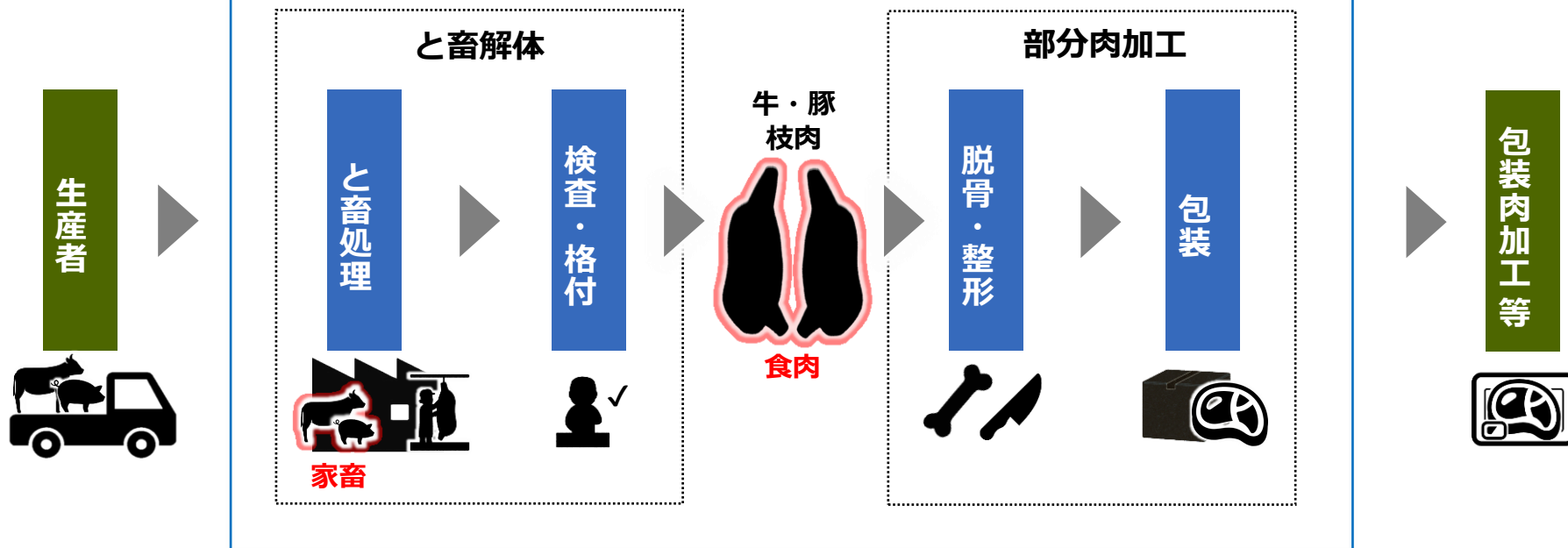


1. 食肉処理施設とは

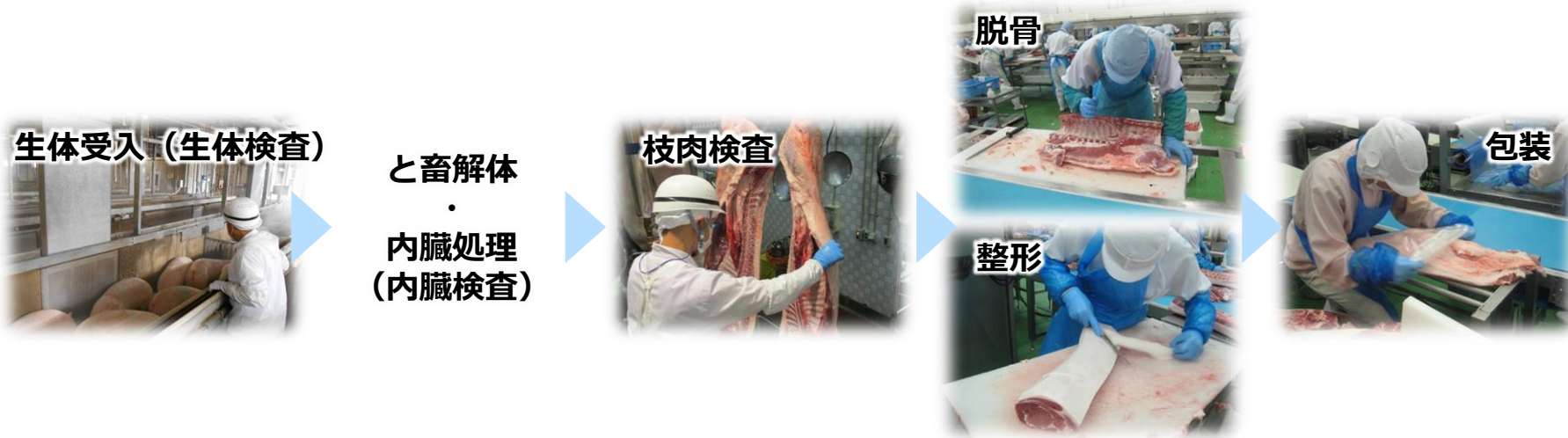
食卓に食肉が並ぶまで（長大なサプライチェーン）



家畜を食肉に変える機能



2. 家畜が食肉になるまで



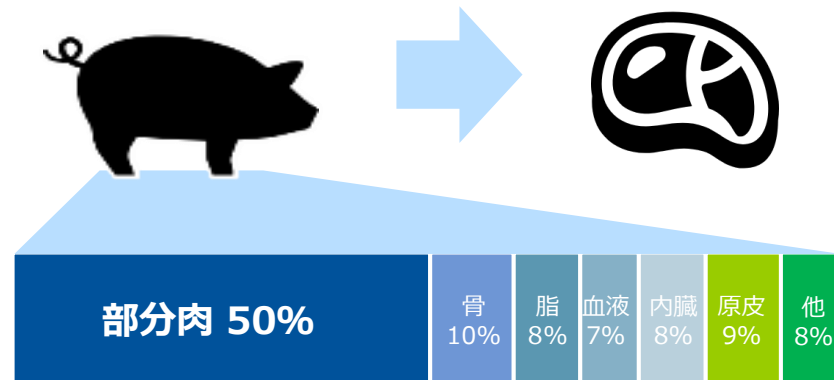
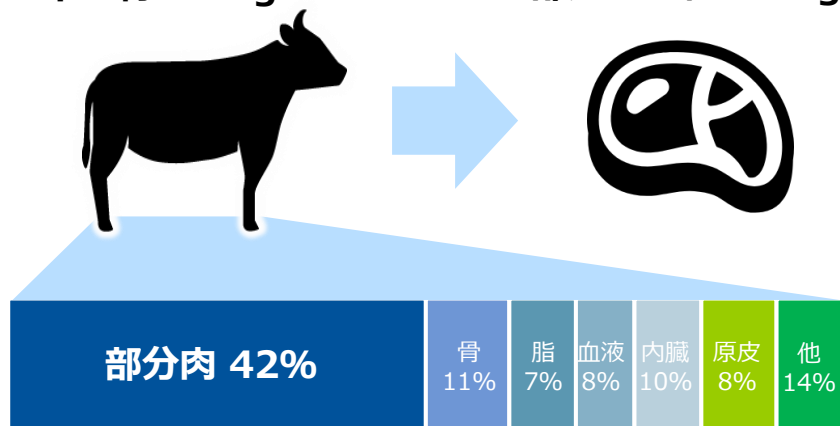
生体 → 枝肉 → 部分肉 → （精肉）を経て可食部へ整形されていく

牛：約800kg

部分肉：約336kg

豚：約110kg

部分肉：約55kg



3. 食肉処理施設の稼働状況

全国各地で食肉供給基地として食肉センターが稼働

国内にある食肉処理施設 . . . **164** か所

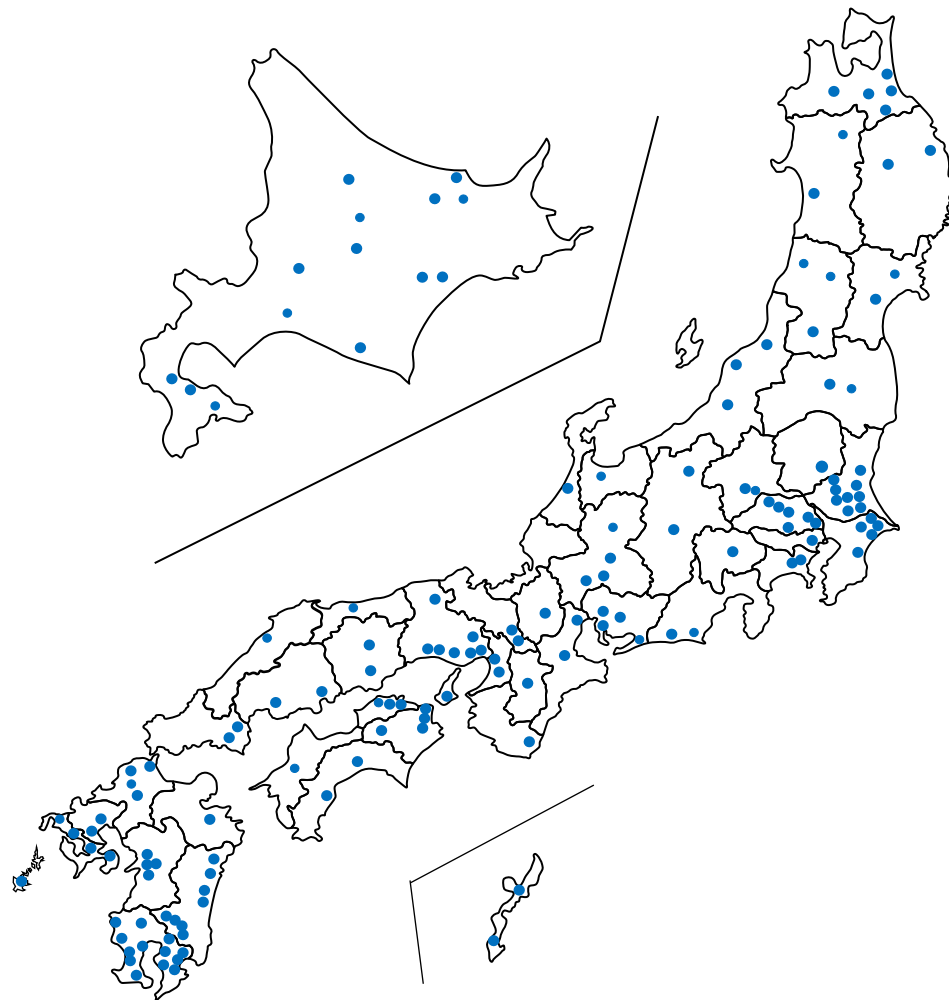
※令和6年2月時点の稼働施設数

うち JAグループが出資している
食肉センター . . . **53** か所

うち 農協系統産地食肉センター . . . **37** か所

農協系統産地食肉センターとは

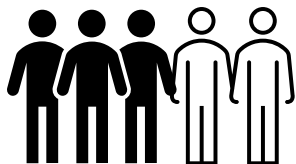
JAグループする食肉センター53か所のうち、
JAグループの出資比率が過半数以上を占めるなど、
いわゆる経営責任を有する食肉センターのこと



「厚生労働省 令和5年8月3日 と畜・食鳥検査等に関する実態調査の結果について」を基に本会作成

4. 食肉センターが直面する課題

食肉センターの持続可能性に黄色信号



食肉センターを支える技術者の不足



老朽化による施設更新が待ったなし

